

「光化学スモッグ」や「PM2.5」ってよく聞くけど…?



「光化学スモッグ」とは

工場や自動車などから出された排気ガスは、太陽の光を受けると化学反応を起こして、「光化学オキシダント」と呼ばれるものになる。夏、日射が強く、気温が高く、風が弱い日は、「光化学オキシダント」が空気の中にたまり、空が白いモヤがかかったようになって、遠くの山や建物が見えにくくなるんだ。この状態のことを光化学スモッグというんだよ。光化学スモッグをあびると、目やのどなどを痛めてしまうんだ。



「PM2.5」とは

PM2.5とは空気中を飛んでいる小さな粒子のうち、大きさが2.5μm以下のものをいうんだ。なんと髪の毛の太さの30分の1程度の大きさなんだって。

物が燃えた時に直接空気中に排出されるものと、排気ガスなどが空気中で化学反応してできるものに分けられるよ。

PM2.5はとっても小さくて肺の奥深くまで入りやすいから、喘息や気管支炎などの呼吸器系の疾患や肺がんなどのリスクを高めるおそれがあるんだ。

光化学スモッグ注意報が発令された日と発令されていない日の空の違い

防災情報 Eメール

横浜市では光化学スモッグ注意報などが発令されたときに携帯電話やおうちのパソコンにEメールでお知らせを送っているよ。登録して使ってみてね。

登録はこちらから → <http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>

横浜の環境について考えてみよう!

このリーフレットは、みんなに知ってもらいたい身近な環境のことを、わかりやすくまとめたものだよ。いっしょに横浜の環境について考えてみよう!



「エコぼと」キャラクター エコぼん

～子ども版「横浜の環境」～



「生物多様性」って知ってる?

いろいろな環境にいろいろな生き物があたがい支えあい、バランスを保ちながらいっしょに存在していることを「生物多様性」が豊かであるというよ。普段、私たちが食べている野菜や肉、着ている服、住んでいる家など、私たちの生活は「生物多様性」の恵みに支えられているんだ。

まずは、身近な横浜の自然や生き物に触れて、関心を持つことが、「生物多様性」を守る第一歩になるよ。

もっと横浜の環境について知りたいと思ったら!!

このリーフレットは平成26年版「横浜の環境」(横浜市環境管理計画年次報告書)をもとに、環境について子ども向けにわかりやすくまとめたものです。より詳しく環境の現状や横浜市の取組を知りたいと思ったら「横浜の環境 本編・資料編」も読んでみてください。

【入手方法】

- 横浜市環境創造局ウェブサイトからダウンロード
- <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri/nenjhoukoku/h26/>
- 市役所、区役所、市立図書館等で閲覧 ・ 市役所1階市民情報センターで販売(本編・資料編セット1,000円)

横浜の環境 検索

横浜市の環境についてのホームページ(キッズページ)

- 環境創造局WEBキッズページ
 - ・みんなの環境のページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kids/>
 - ・地元ヨコハマでとれた農畜産物を食べよう! <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/kids/>
- 資源循環局キッズページ「イーオタウン」 <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/subshimin/study-event/kankyogakusyuu.html>

こども「いきいき」生き物調査2013 調査結果

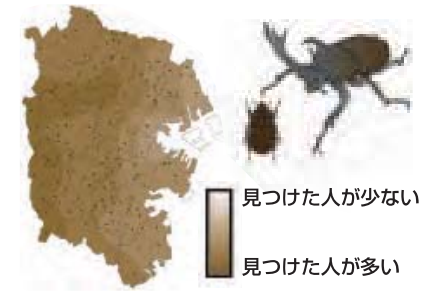


夏休み、家や学校の近くで見つけた生き物を、150校、11,419人の小学生が報告してくれたんだ。

みんなが住んでいるところにはどんな生き物がいるかな?

カブトムシ

市の西側の緑ゆたかな場所では見つけた人も多く、東側の海の近くでは少なかったよ。調査に参加した小学生の7割以上がカブトムシを見つけたと言っていたよ。





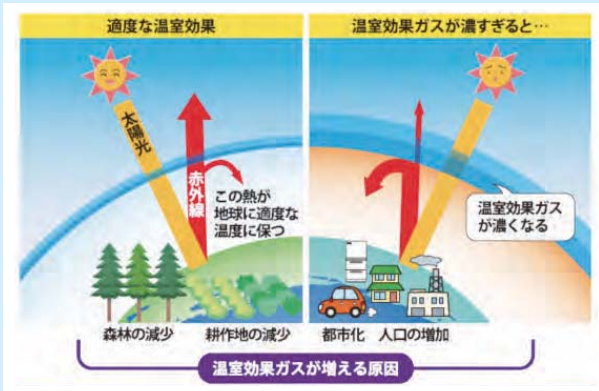
横浜の気温って上がってるの？

横浜市の1年間の平均気温は、過去100年で約2.6℃上がっているんだよ。

石油などの燃料を燃やすことで発生する二酸化炭素などの熱を保ちやすいガス（温室効果ガス）が空気中にたくさんたまり、気温が少しずつ高くなってきたからと考えられているんだ。これを「地球温暖化」というよ。

地球の気温が上がると、北極や南極の氷がとけて海面が上昇したり、雨の降りかたが変わって日照りや洪水などを引き起こしたり、人間や他の生き物に大きな影響を与えるおそれがあるんだ。

地球温暖化のしくみ



こども『エコ活。』大作戦！

小学生37,300人のみんなに夏休み中、省エネなどをテーマとした「エコ活。」に取り組んでもらい、取り組んだ結果を発表してもらったよ。みんなの取組を「すばらしい！」と思ってくれた企業のみなさんから協賛金をくださって、タジキスタン共和国に、なんと5千本以上に相当する植林や、東日本大震災で被災した海岸林を再生するプロジェクトに活用されているんだ。



横浜の緑を守ろう！！

緑には様々な働きがあり、大切な緑を守り、作っていくために、横浜市では様々な取組を行っているよ。

緑の様々な働き

<p>いざ！という時に公園や農地は避難場所になるんだ</p>	<p>生き物が住みやすい都市は人も住みやすいよ</p>	<p>緑があると夏でも涼しいね</p>
<p>森や田んぼは洪水を防ぐよ</p>	<p>美しいまちは誰もが住みたいまちだね</p>	<p>農地がそばにあると新鮮な野菜が食べられるよ</p>

緑を守る取組

大切な緑がなくならないように、土地を持っている方に協力してもらい、森や農地を守る取組や、まちの緑をつくる取組を進めているよ。

横浜でとれた野菜や果物を食べよう！

横浜は、実は農業がさかんなまちなんだ。ぜひ地元・横浜でとれた野菜や果物を食べよう！地元の農地でとれたものを食べることを「地産地消」というよ。地産地消には良いことがたくさんあるんだ。近くでとれた野菜や果物は、スーパーなどに運ぶ距離が短いから、燃料をあまり使わず、環境にもやさしいよ。農家がひらいている直売所で野菜や果物を買くと、おいしい食べ方やどのようにして作っているかなどいろいろ役に立つことを教えてくれるよ。農家のことがわかれば、安心して野菜や果物が食べられるね。

横浜でたくさんつくられている野菜は？

- 1位 キャベツ
- 2位 ダイコン
- 3位 ホウレンソウ
- 4位 トマト
- 5位 コマツナ

横浜野菜の生産量全国順位

コマツナ	全国 2位
カリフラワー	全国 8位
キャベツ	全国 10位
ホウレンソウ	全国 11位
枝豆	全国 11位

給食に横浜産野菜が一堂に登場

給食では、横浜産の野菜を使った献立がよく登場するね。特に、11月の地産地消月間では、横浜で一番たくさん作られているキャベツとダイコンを使ったメニューが給食に登場したんだ。

みんなにおいしく食べてもらいたい、という生産者みなさんの思いが伝わってくるね。けんちん汁とキャベツの即席漬け、おいしかったなあ。

使われた野菜の量は、キャベツ約8.5トン、ダイコン約2.1トン。生産者のみなさん、ありがとう。

「横浜農場」でとれた野菜と果物をたくさん食べてね。



合言葉は『ヨコハマ3R夢！』

多くの人々が生活している横浜市では、毎日たくさんのごみが出されているんだ。平成25年度に市内から出されたごみの量は約90万トンだったんだよ。

ごみを増ふやさないため、限りある資源を大切に使うために、横浜市は、「ヨコハマ3R夢！」を合言葉に、3Rを実践しながら、みんなが将来に「夢」をもてるまち・横浜の実現を目指しているよ。

3R

「3R」とは、ごみ減量のキーワードである、3つのRを指す言葉だよ。

「もったいない」という気持ちを大切に、できるところから少しずつ広がっていくことが大切なんだ。

Rその① リデュース (Reduce) 「ごみそのものを減らす」こと	Rその② リユース (Reuse) 「何回もくり返し使う」こと	Rその③ リサイクル (Recycle) 「資源物を新しい製品に作り変える」こと
---	--	---

「3つの“マイ”」でリデュース！！

出かける時は、「マイバッグ」「マイボトル」「マイはし」を持って、楽しくリデュースしよう。

マイバッグ
レジ袋のごみをリデュース！

マイボトル
ペットボトルや缶のごみをリデュース！

マイはし
わりばしのごみをリデュース！



「ヨコハマ3R夢」マスコット イーオ